

平成 27 年度ボランティア活動実践交流会 開催要綱

「住民主体の支え合い活動の充実に向けて～介護予防・日常生活支援総合事業を見据えて～」

1. 趣旨

本年 4 月より順次、実施されている介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「総合事業」という）では、各市町村において住民参加による生活支援サービスの充実を図るしくみづくりが展開されることになり、ボランティアグループ等、住民主体の支え合い活動への期待は高まりを見せています。

このようななか、今年度の交流会では昨年度に引き続き総合事業を軸に据え、前段では実施に至る背景や目的、事業内容のポイントを講師より解説いただき、改めてその概要を理解します。後段では定年後の男性の活躍も期待した生活支援や常設型サロンでの交流等、県内各地の支え合い活動の実践を担い手の方々より伺い、その現状や課題を学んでいきます。

これらを通し、高齢者のみでなく障害者や児童等も視野に入れ、身近な地域における住民主体の支え合い活動の充実に向けて、多様な主体との連携のもとで住民自身が取り組むべき課題、充実すべき活動とは何かを考える契機とします。

2. 対象

- ・ボランティアグループ、地区社協、自治会、民生委員児童委員協議会、NPO、当事者団体、自助グループ等で地域福祉推進に係る活動をされている方
- ・市町村行政・社協、地域包括支援センター等の地域福祉推進に係る事業の担当者

3. 開催日及び会場

平成 27 年 11 月 25 日（水）神奈川県社会福祉会館 2 階・講堂（横浜市神奈川区沢渡 4-2）地図参照

4. 内容等

時間	内容
13:00	テーマ「住民主体の支え合い活動の充実に向けて～介護予防・日常生活支援総合事業を見据えて」 開会
13:05～14:05	◆講 演 総合事業の実施に至る背景や目的、事業内容のポイントを解説します。 【講師】佐塚 玲子氏（よこはま地域福祉研究センター・センター長）
14:05～14:10	休憩（5分）
14:10～15:30	◆実践報告 県内各地の住民主体の支え合いの実践について、現状や課題を報告いただきます。 【コーディネーター】佐塚 玲子氏（よこはま地域福祉研究センター・センター長） 【実践報告者等】 1「自治会のニーズ調査を機としたボランティアの組織化と生活支援や見守りの実践」 白岩八重子氏（鴨居みかん台自治会福祉部・部長／横須賀市） 2「空き店舗を活用した“常設型”サロンにおける交流活動の現状と課題」 渋谷 昇氏（ハッピーサロン銀の椅子・運営委員会委員長／海老名市） 3「定年退職後の男性を主役にした地域での支え合いと交流活動」 清水 靖枝氏（阿久和北部地区社会福祉協議会・会長／横浜市瀬谷区）
15:30～15:40	休憩
15:40～16:30	◆交流会 数人ずつのグループに分かれ、各組織・グループの取り組みの現状や課題を共有しながら、交流を深めます。

5. 実践報告～組織・団体等の紹介～

「自治会のニーズ調査を機としたボランティアの組織化と生活支援や見守りの実践」

鴨居みかん台自治会（横須賀市） 【人口約1,200人 約500世帯】（鴨居1丁目）

昭和40年代に造成されたみかん台団地は横須賀市鴨居にあります。当自治会では約12年前にボランティアニーズ調査を実施し、住民の「やってほしいこと」「やれること」を把握するとともに、これを機にボランティアを組織化。現在では約70名のボランティアが地区の民生委員児童委員等と情報共有しながら、高齢者世帯の買い物支援や訪問活動、子供の登下校時の見守り、毎朝の公園健康体操等、個々の興味や関心のある活動に参加し、地域の困りごとと解決に向け取り組んでいます。平成24年にはこれらの活動が評価され、内閣府から「社会参加章」を受章しました。

2「空き店舗を活用した“常設型”サロンにおける交流活動の現状と課題」

ハッピーサロン銀の椅子運営委員会（海老名市） 【人口約3,000人 約1,500世帯】（東柏ヶ谷2丁目）

ハッピーサロン銀の椅子は相鉄線さがみ野駅に近い東柏ヶ谷にあります。銀の椅子は地元の東柏ヶ谷2丁目自治会が地域での顔見知りの関係を広げようと市のふれあい見守り事業を活用し、また、市社協職員や民生委員児童委員の支援を受けながら、4年前に空き店舗を活用し開設した常設型サロンで、運営は自治会役員等が中心となる「運営委員会」が担っています。ここでは、日曜日を除く午前10時から午後4時までスペースを開放し、地域住民が思い思いの時間を過ごしながらか交流するとともに、高齢者等の異変に気付く見守りの場にもなっています。

3「定年退職後の男性を主役にした地域での支え合いと交流活動」

阿久和北部地区社会福祉協議会（横浜市瀬谷区） 【人口約10,000人 約3,600世帯】（阿久和北部地区）

阿久和北部地区では地区社協や自治会等が密に連携しながら、支え合いの活動を進めている地域です。当地区社協では、ミニデイサービスや高齢者への配食サービス等の活動に加え、とかく閉じこもりがちな定年後の男性にも支え合いの活動に参加してもらおうと、10年前に地域福祉計画の中から生まれたのが「おやじの広場」（団塊の世代グループ）です。「無理なく、楽しく、自分のために」をモットーに、男性が主体となり民生委員児童委員主催の高齢者会食会の援助をしたり、子どもたちと竹細工などの指導を行ったりと、無理なく自分の出来ることを中心に活動しており、今後は特に見守り活動の核としても地域から期待されています。

6. 主 催 社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

7. 定 員 120名（先着順）

8. 参加費 1,000円（当日、申し受けます。釣銭のないようご協力をお願いします）

9. 申込等 別紙申込書に必要事項をご記入の上、11月16日（月）までにメールまたはFAXにて下記宛にお申込み下さい。受講不可の場合のみ、連絡いたします。



10. 申込み・問い合わせ先

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

地域福祉推進部 地域福祉推進担当

（かながわボランティアセンター 担当：柏倉）

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター12階

TEL045(312)4815 FAX045(312)6307 E-mail tiiki@knsyk.jp

平成 27 年度 ボランティア活動実践交流会申込書

(柏倉行)

平成 27 年 月 日

組織・グループ名 (個人の方は除く)	
氏名 (連絡担当者氏名)	
連絡先	〒 Tel e-mail fax

※複数名での申込み時のみご記入ください

NO	氏 名
1	
2	
3	
4	
5	

※申込書による個人情報については、参加者名簿のみに使用します。
※なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

☆問合せ・申込み☆

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
地域福祉推進部 地域福祉推進担当宛
〈FAX〉 045 (312) 6307
〈e-mail〉 tiiki@knsyk.jp

※FAX の場合はこの用紙にご記入の上、送信してください。

メールの場合は、上記の項目をお知らせください。